

まいばら協働事業提案制度 平成26年度提案事業 審査結果

| 整理番号 | 事業名 | 事業内容 | 審査結果 | 講評 | 条件 |
|------|-------------------|---|------|---|----|
| | 団体名 | | | | |
| | 担当課 | | | | |
| 1 | 柏原地区古民家活用サポート事業 | 空き家、古民家を、地域の賑わいや活性化の拠点として活用するためのモデル事業を柏原区で実施する。古民家の改修や修理をワークショップ形式で行い、住居ではなくコミュニティスペースとしての活用を地元参加型で一緒に行う。併せて古民家の活用の提案やサポートを行う。 | 採択 | 空き家の活用方法のモデルとして、また街道沿いの活性化策として、他の地域への広がりが期待できます。 特にランニングコストや、地域との関わり方など、活用ノウハウを構築してください。 4年目以降の運営を継続いただくためにも、民泊やコミュニティスペースとしての活用など利用料金徴収など安定的な収入確保について検討をしてください。 | — |
| | 未来へつなぐ古民家活用サポーターズ | | | | |
| | 山東自治振興課 | | | | |
| 2 | 東西東西プロジェクト | 県境である柏原地域と関ヶ原の今須地域を舞台に、東西文化の歴史的、文化的資源を再認識、再評価することで地域交流と活性化を推進する。 平成27年度は「言葉」をテーマに、言葉(方言)と食文化についてのアンケート調査の実施や中学生と高齢者の方言調査を行うほか、東西落語家による落語会や言葉にまつわる講演会を実施する。 | 採択 | 地域の特性を生かした「東西文化の境目」というテーマが、地域文化・歴史だけでなく他分野との連携にも発展が望めます。 調査結果である成果物を活用した学校と地域が連携したまちづくりの推進や、地域のまちづくりを通じた学校支援に期待します。 | — |
| | はびろネット | | | | |
| | 山東自治振興課 | | | | |
| 3 | 地域で子どもを育てる“冒険遊び場” | 自然の中で自由に遊べる環境を整え、子どもたちの健全な成長を支援することを目的とした「冒険遊び場」をモデル設置し、親の相談場所、交流場所として、また地域のお年寄りに見守り人として参加してもらうことで、まちづくりの一環としてのモデル事業として提案し、市内の他地域への広がりも推進する。 | 採択 | 地域の関わりは大変心強いものです。子どもたちの自尊感情を育む子育て事業としての意義は大きく、4年目以降も、是非継続してください。 そのためにも、運営に必要な経費の確保について見通しを立て、行政も分野横断的な支援を継続してください。 市内には地域をフィールドに活発な活動を継続している団体があるので、そのような団体との連携による他地域への波及を進めていただくことを期待します。 | — |
| | 上丹生プロジェクトK | | | | |
| | 子育て支援課 | | | | |

| 整理番号 | 事業名 | 事業内容 | 審査結果 | 講評 | 条件 |
|------|--------------------------------------|---|-------------|---|--|
| | 団体名 | | | | |
| | 担当課 | | | | |
| 4 | 米原まちづくりネットワークの構築 | まちづくり団体と市民の接点を増やし活動参加へのハードルを下げることで、活動の継続性、発展性の課題を解決する。おもに情報発信と交流の場を提供する。現地訪問やヒアリングによる情報収集と整理、カフェ形式の活動紹介の場、まちづくり体験イベントの開催、交流会の実施など。3年目となる平成27年度は、ルッチ大学への運営支援や、まちづくりセンターのあり方についての検討会議を開催する。 | 採択 | 2年間で積み重ねた事業の実績を検証し、市民活動センター構想を含む今後の事業の方向性が分かる活動を27年度は展開してください。そのためにも、組織の基盤強化を図り、市との協働による市民活動センターの構築を目指してください。また、施設としての拠点づくりと同時に、人々をつなげる仕掛けづくりも期待します。 | — |
| | ルッチまちづくりネット | | | | |
| | 政策推進課 | | | | |
| 5 | 米原ファミリーアートフェスタ | 子どもたちが絵画鑑賞、創作、音楽活動に出会い、体験することを通じて、子どもの潜在能力を引き出し、米原市の子どもたちの「自ら考える力」「生きる力」、「心の情操」を育む体験型アートイベントを開催する。 | 採択 (条件付) | 団体の事業への熱意と、子どもたちを取り巻く課題について理解できます。その課題解決に向け、米原市全体の子どもたちとその家族を対象とするならば、誰もが参加しやすく、継続的なプログラムである必要があります。幅広い分野での提案は理解できないものではありませんが、まずは、団体が専門とするアートを生かした地域や家庭を巻き込んだ子育て支援に焦点を絞ったカリキュラムとされることを提案します。 | 事業目的を再度整理し、計画されている事業が目的に対してどのような効果を与えるのかを明確に示してください。その上で、参加者負担額や講座のプログラムを絞り込み再計画されるとともに、予算面を精査してください。とりわけ全体経費に対し尾木氏への謝礼の占める割合が多く、また、音響経費も事業の規模に照らして適正であるとは認められません。 |
| | アートランドミネシマ (米原ファミリーアートフェスタプロジェクト) | | | | |
| | 政策推進課 | | | | |
| 6 | マイクリングマップの作成 | 誰もが気軽に楽しめるスポーツとしてのサイクリングというツールを活用し、米原市の観光や歴史などの魅力資源の発信も兼ねた、女子(ママ)の目線のサイクリングマップを作成。 | 採択 (条件付) | 「ママ目線」でのマップ作成に、地域ならではの情報とこれまで興味が無かった層が新たにサイクリングを始めてみようと思わせるきっかけになることが期待できます。しかし、米原市民の「サイクリング」への意識と実態を把握し、ターゲットを絞ることが必要と考えます。また、事業の準備過程で団体としての組織力の醸成を目指してください。 | 活用方法を視野に入れた拡張性の高いマップ作りをしてください。様々な情報を掲載したいところですが、行政テーマである「スポーツツーリズム」の推進からぶれないよう、掲載情報を検討してください。 |
| | マイクリングプロジェクトチーム | | | | |
| | 生涯学習課 | | | | |